



2023 年 10 月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(1 ページ\)](#)
- [問題 \(3 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces ダッシュボード

ユーザーアカウントの国情報の更新：ログインプロセス中に、2022年4月より前にオンボードしていた Cisco Spaces ユーザーに対して、国情報を更新するためのポップアップウィンドウが表示されます。必要な情報を入力するか、[Skip & Continue] をクリックしてスキップし、Cisco Spaces ダッシュボードに進みます。情報を入力すると、その後のログイン時に、再度ポップアップウィンドウにプロンプトが表示されることはありません。

Camera Message Queuing Telemetry Transport (MQTT) ブローカの認証サポート：Cisco Meraki カメラから MQTT 更新を受信するためのパスワードベースの認証をサポートするように Cisco Spaces クラウドが更新されました。バックグラウンド ネットワーク同期プロセスにより、認証の詳細が Cisco Meraki ダッシュボードで自動的に更新されます。

Cisco Spaces : IoT Explorer アプリ

IoT Explorer アプリケーションが強化され、次の領域で安定性の修正が含まれるようになりました。

- **デバイスリスト**：すべてのユースケースが拡張され、ロケーション階層のインポートプロセス中に **Last Heard** ステータスを持たないデバイスが表示されるようになりました。

- **アセットロケーション履歴**：アセットトラッキングのユースケースが拡張され、ゾーンレベルでアセットを追跡できるようになりました。この変更は、[AssetDetails] ウィンドウで確認できます。
- **ルールイベント**：アセットトラッキングのユースケースで、**アセットが検知されないルール**で追跡されるアセットには、検知されるまで、**N/A**の終了タイムスタンプが割り当てられます。このルールを削除しても、このルールの下イベントの終了タイムスタンプは**N/A**のままです。この機能拡張により、これらのイベントはイベントリストから削除されるようになりました。

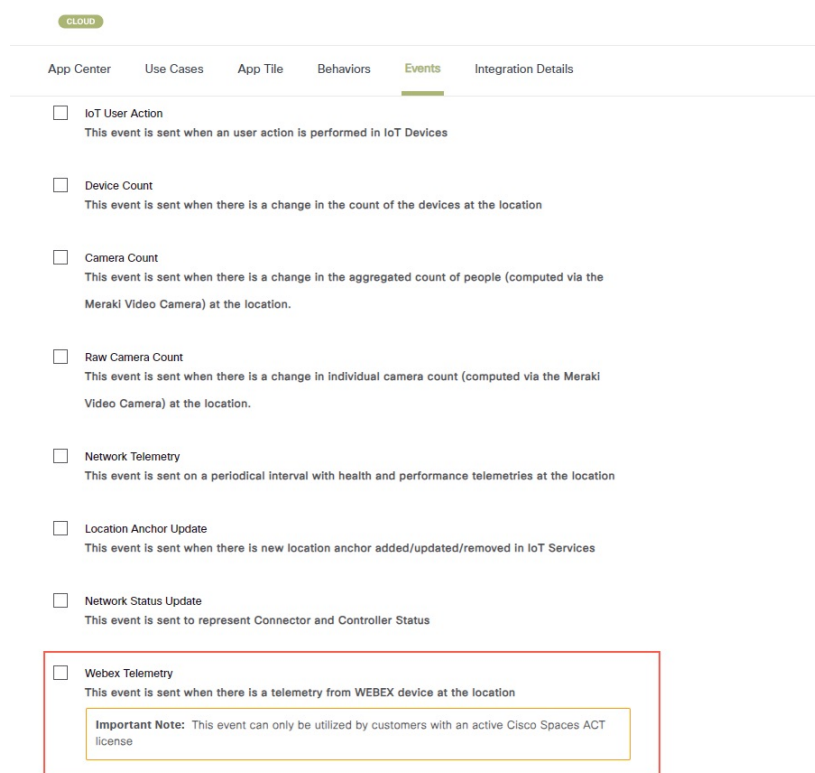


(注) 安定化プロセスの一環として、Cisco IoT Explorer アプリケーション全体に軽微な修正が実装されています。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Webex テレメトリイベントタイプは、[Events] タブで使用できます。**Webex テレメトリイベント**は、**Telepresence** イベントタイプの拡張バージョンです。パートナーは、アプリケーションの作成中にこのイベントタイプを使用でき、特定の場所で Cisco Webex デバイスからテレメトリが更新されるとトリガーされます。

図 1: [Events] タブ





(注) **Webex テレメトリ** イベントタイプは、アクティブな Cisco Spaces **ACT** ライセンスでのみ使用できます。

[Events] タブの **Telepresence** イベントタイプは廃止され、新しいパートナー アプリケーション ユーザーは使用できません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwh84725	Cisco Detect and Locate でフロアマップを表示できない

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。